

近畿地区協議会副会長 基本方針

近畿地区協議会 副会長 玉置 佳睦

近畿地区内には、歴史上政治、文化、経済の中心を担ってきた都市を数多く抱えています。この魅力ある地域においても戦後の東京一極集中化により、地域の活力が低下し、厳しい環境に置かれているのが現状です。さらに国政においては政権も変わり、地方行政は転換期を迎えております。そのような中、地区内96LOMの負託を受ける我々は、魅力ある社会資本を増強しながら、希望に溢れる近畿の未来図を描いていく必要があります。

そのためには、まず2009年策定された「2009近畿地区ビジョン」を議論のまま終わらせることなく、我々が実際に行動に移していくための道筋を示してまいります。さらに地域主権型道州制議論については、その移行によって近畿がどのように変わるのか、また明るい未来があるのかということに主眼を置き、その光と影を地域住民の皆様とともに学び、考える機会を設けます。それには他団体と連携した事業という形も視野に入れてまいります。近畿地区から全国の地方分権改革を先導できるような地域モデルの発信を目指します。またJCCSシステムの地区内での加入率向上に働きかけ、説得力のある意見集約と情報発信を行い、今後のJC運動の推進力となるようにします。さらに地区内6ブロック協議会また各LOMがスムーズな繋がりを持てるようネットワークを整備し、収集した情報を発信することで、国民目線でリアリティのある連携推進運動・協働運動・LOM重点依頼運動への支援を行います。またASPACでは、これからの近畿地区の役割について考え、楽しい中にも我々の運動を発信できるジャパンナイトブースの設営をします。

我々JAYCEEが近畿の未来を変える気概で率先して行動すれば、必ず希望溢れる近畿に変わります。我々の行動は、日本再生に貢献しうるたくましい近畿への推進力となり、さらには人類の光明となる「世界に輝く日本」に向け、真の民主主義国家を創造します。

〔事業計画〕

1. 2009近畿地区ビジョンを活かした運動の推進（通年）
2. 近畿地区における地域主権型道州制移行に関する問題点の研究・発表（通年・7月）
3. 連携推進運動・協働運動・LOM重点依頼運動の支援並びに取りまとめ（通年・7月）
4. JCCSを活用した積極的かつ説得力のあるJC運動の発信（通年）
5. ASPACシンガポール大会におけるジャパンナイトブースの出席（6月）
6. 近畿地区会員大会泉佐野大会への協力（7月）
7. 関西広域機構との連携（通年）